（１） 令和６(2024)年度の実績【公共建築物】

○　木造・木質化を実施した公共建築物は28施設、木材使用量2,456.9㎥
○　うち県有施設は6施設（木造4施設、木質化2施設）、木材使用量171.2㎥
　（前年度比で施設数3件、木材使用量約1,400㎥減少）
○　県有施設の炭素貯蔵量は103.8t-CO_2（推計値）

表－１　公共建築物の木造・木質化の実績

施設数：件
木材使用量：㎥

区　分		教育施設			福祉・医療施設			農業・林業等産業施設			公園・観光施設			庁舎・警察・居住施設			その他			計		
数量等		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量	
			総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材
木造	総数	2	301.1	297.2	11	1,675.6	535.7	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	49.4	22.8	1	288.7	222.2	17	2,314.8	1,077.9
	うち県有施設	1	62.2	58.3	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	49.4	22.8	0	0.0	0.0	4	111.6	81.1
木質化	総数	8	141.1	1.0	3	1.0	1.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	11	142.1	2.0
	うち県有施設	2	59.6	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	2	59.6	0.0
合計	総数	10	442.2	298.2	14	1,676.6	536.7	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	49.4	22.8	1	288.7	222.2	28	2,456.9	1,079.9
	うち県有施設	3	121.8	58.3	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	49.4	22.8	0	0.0	0.0	6	171.2	81.1

（１） 令和６(2024)年度の実績【公共建築物】

表－２　木造・木質化を実施した県有施設一覧

No.	施設名称	階数	面積 (㎡)	木造・ 木質化別	木材使用量 (㎥)	備考
1	足利高校運動部室	1	292.8	木造	62.2	
2	足利高校校舎	3	8,044.0	木質	18.9	RC
3	足利高校体育館・武道館	1	2,893.4	木質	40.7	RC/S
4	さくら警察署高根沢交番庁舎	2	75.0	木造	15.1	
5	小山警察署野木交番庁舎	2	75.0	木造	13.7	
6	矢板警察署片岡警察官駐在所庁舎	1	95.0	木造	20.6	
計	６施設（木造（４）、木質（２））				171.2	

（１） 令和６(2024)年度の実績【公共建築物】

足利高校　運動部室（足利市）【木造】

足利高校　運動部室（足利市）【木造】

足利高校　体育館・武道館（足利市）【木質】

足利高校　校舎（足利市）【木質】

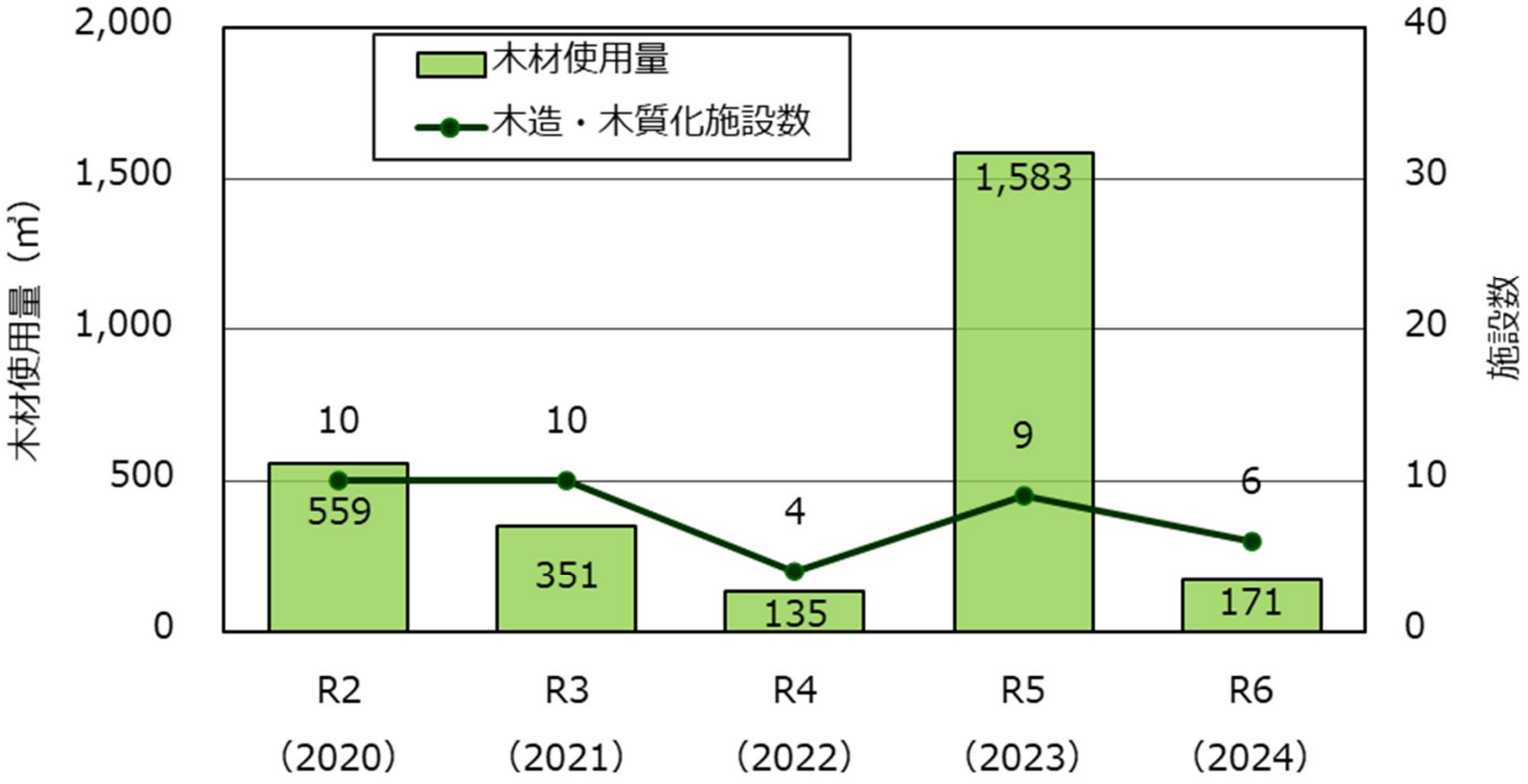
（１） 令和６(2024)年度の実績【公共建築物】

さくら警察署高根沢交番庁舎（高根沢町）【木造】

小山警察署野木交番庁舎（小山市）【木造】

矢板警察署片岡警察官駐在所庁舎（矢板市）【木造】

（１） 令和６(2024)年度の実績【公共建築物】



公共建築物のうち県有施設の木造・木質化の推移

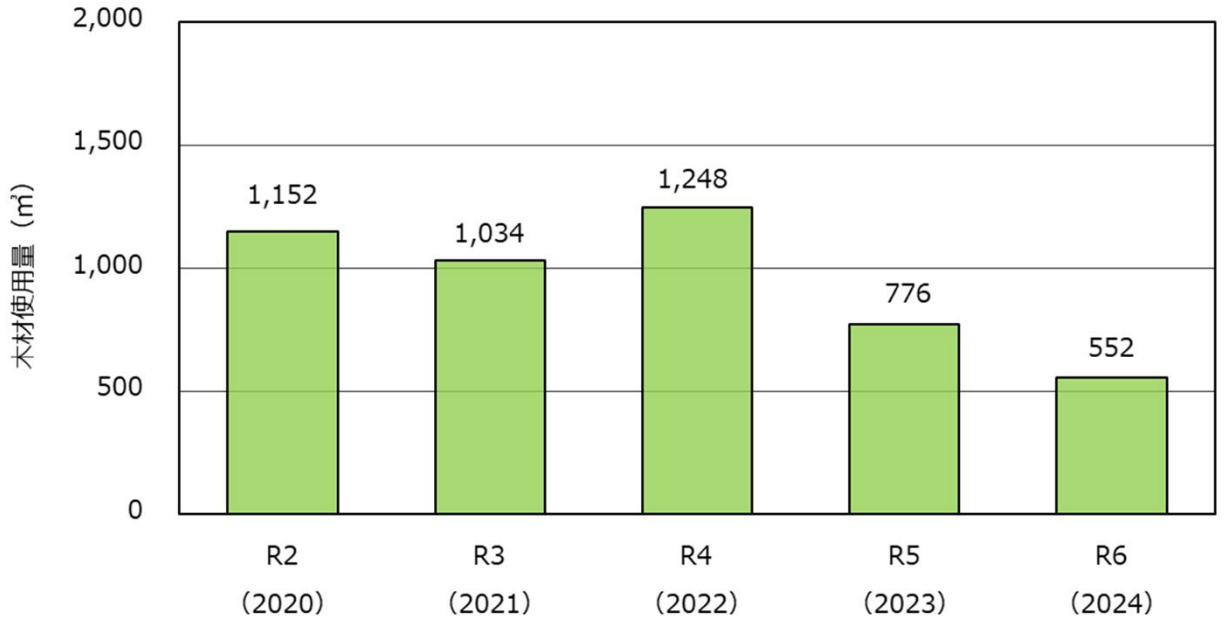
（２） 令和６(2024)年度の実績【公共土木施設】

○　木材利用を実施した公共土木施設等における木材使用量は561.2㎥
○　うち県有施設の木材使用量は552.3㎥（前年度比約71%）
○　県有施設の炭素貯蔵量は334.7t-CO_2（推計値）

表－３　公共土木施設等における木材利用の実績

単位：㎥

区　分	農業土木施設		道路施設(林道含む)		自然公園施設		都市公園施設		観光施設		河川施設		砂防施設		治山施設		その他		計	
	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材	総量	うち県産材
木材使用量	0.6	0.0	37.4	37.4	68.7	68.7	5.2	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	449.3	446.3	0.0	0.0	561.2	557.6
うち県有施設	0.6	0.0	28.5	28.5	68.7	68.7	5.2	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	449.3	446.3	0.0	0.0	552.3	548.7



公共土木施設等のうち県有施設の木材使用量の推移

（２） 令和６(2024)年度の実績【公共土木施設】

だいや川公園　アスレチック（日光市）

残置式間伐材型枠　真名子（栃木市）

木製標識　大間々自然歩道（矢板市）

桟橋　イタリア大使館別荘記念公園　（日光市）

（３） 令和６(2024)年度の実績【庁用物品等】

○　イベントで使用するノベルティグッズや木工キットのほか、表彰状などに県産木材を積極的に活用し、木材利用の普及啓発を実施

表－４　庁用物品等における木材利用の実績

物品名	数量	単位	備　　考
木製表彰楯の購入	17	個	ジュニア知事さん、とちぎ木づかい功労者表彰
木製名札の購入	15	個	ジュニア知事さん
表彰状（日光ひのき板材に文字焼き付け）	5	個	令和６年度エコたび栃木プロジェクト
木製ネームプレートの購入	5	個	林業センター
木工キット（ミニ背付き椅子）の購入	40	セット	林業センター
ノベルティグッズ（木製コースター）の購入	180	個	林業大学校
木製ピンバッジ	200	個	
ひのきのたまご	200	個	

（３） 令和６(2024)年度の実績【庁用物品等】

木製ピンバッジ

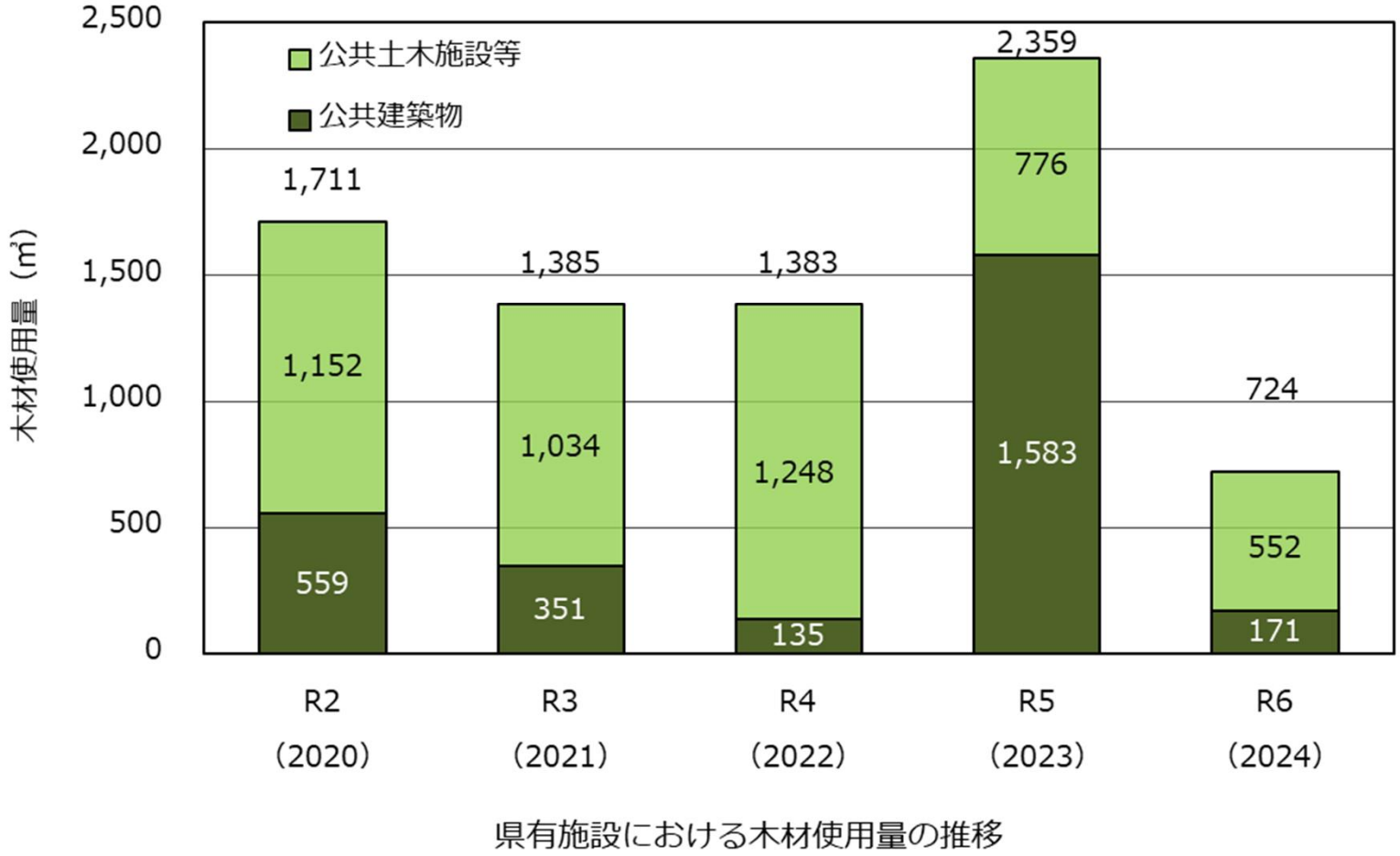
木製表彰状

木製コースター

木製表彰楯

（４） 令和６(2024)年度の実績【合計】

○ 県有施設の木材使用量の合計は723.5㎥（前年度比約31%、R4年度比約52%）
○ 炭素貯蔵量は438.5t-CO_2（推計値）
→約53人が１年間に排出するCO_2の量に相当※



県有施設における木材使用量の推移

※ R4(2022)年度の１人当たりCO_2排出量は8.28ｔ-CO_2
（2024年日本国温室効果ガスインベントリ報告書より）